

指導教諭
指導者



1. 日時 平成 29 年 6 月 14 日
2. 対象 第 1 学年 1 組 (20 名 男子: 11 名 女子: 9 名)
3. 場所 1 年 1 組教室
4. 単元名 Program 4 リサイクル活動

5. 単元について

(1) 生徒観

1 年 1 組は生徒それぞれの個性が強いクラスである。新出単語の発音練習やペアでの会話練習では積極的に取り組む様子が見られ、特にゲーム性のあるアクティビティーではそれぞれが競い合い、より一層活発な言語活動が行われている。しかしながら英語の習熟度に関しては生徒間で大きな差があり、新出事項を用いた英作文などの課題終了までの時間に大きな差が見られるため、教師からのサポートや生徒同士での教え合いを豊富にすることが望ましい。授業中の発問に対する生徒の発言は多くあるが、特定の生徒のみからの発言であることに加え、私語の多い生徒も数人見られる。

(2) 教材観

Program4 ではマイク、由紀、武史の三人が日曜日の予定について話し合っており、その中で出たリサイクルデーについての話題が扱われている。由紀と武史がリサイクルデーをマイクに紹介しており、リサイクル活動へ誘う表現や驚きを表す表現なども含まれている。言語材料に関しては Program3 では一般動詞を用いた基本的な表現を導入していたが、Program4 においても引き続き一般動詞に関連した新出表現を扱っている。疑問詞 what をはじめ、単語の複数形や How many ~? を用いた数をたずねる表現など、「もの」に関する英語表現が主として扱われている。

(3) 指導観

疑問詞 what や名詞の複数形、How many ~? を用いた数をたずねる表現など「もの」に関わる表現が主であるため、本単元の学習を通して、一般動詞とともに用いるときの名詞の使い方への理解を深めておくことで生徒の英語表現の幅を広げるとともに、Program5 において This is ~./That is ~. の構文や疑問詞 where の導入へとつなげることを目指す。名詞の複数形は単語によって異なった変化をし、発音に関しても複数形 (~s/es) の音が [z][s][iz] と 3 種類に分かれるため、生徒がそれらを覚えるためにも発音練習を繰り返し行うことや対話形式で実際に使うことが望ましい。特に本クラスでは、単語の発音とスペルを組み合わせ覚えて覚えることが得意な生徒が多数見られるため、生徒が新出表現を使う機会をより一層重視して指導したい。

6. 単元の指導計画

時間	教科書・プリント	学習目標
第 1 時	p.38 No.13	疑問詞 what を用いて相手に何をするかたずねたり、答えたりすることができる
第 2 時	p.39 No.14	疑問詞 what を用いた疑問文とその答えを含む英文を読んで理解することができる

第 3 時 (本時)	p.40 No.15	名詞の複数形 (~s/es) を用いて、2 つ以上のものについて言うことができる
第 4 時	p.41 No.16	名詞の複数形 (~s/es) を用いた 2 つ以上のものについての表現を含む英文を読んで理解することができる
第 5 時	p.42 No.17	How many ~? の表現を用いて数をたずねたり、答えたりすることができる
第 6 時	p.43 No.18	How many ~? の表現を用いた疑問文とその答えを含む英文を読んで理解することができる

7. 単元における評価基準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 … ①	単語や本文の発音練習において声を出して積極的に参加している ペアでの活動において協力して取り組んでいる
外国語表現の能力 … ②	疑問詞 what を用いて何をするかたずねることができる How many ~ ? の表現を用いて物の数をたずねることができる 名詞の複数形を用いて物の数を表現することができる 単語や教科書本文を正しく発音することができる
外国語理解の能力 … ③	疑問詞 what や How many ~ ? の表現を用いた疑問文とそれに対する答えを聞いて、内容を理解することができる 疑問詞 what や How many ~ ? の表現を用いた疑問文とそれに対する答えを含んだ教科書本文を読んで、内容を理解することができる
言語や文化についての知識・理解 … ④	日本語での「何」や「いくつ」にあたる表現が、英語では文頭に来ることを理解している 英語では単数か複数かで名詞の形が変化することを理解している 名詞によって複数形 (~s/es) の発音が違うことを理解している

※ 下線部分は、本時における評価基準

8. 本時の学習目標

複数形 (~s/es) を用いて、2 つ以上の物について言うことができる

9. 本時の展開

	生徒の活動	教師の指導	指導上の留意点	評価
導入 (3分)	あいさつをする 本日の天気、曜日、日付を答える It's ~. It's ~. It's ~.	あいさつをする 本日の天気、曜日、日付について質問する How's the weather today? What day is it today? What's the date today?	It's ~. の形で答えるように指導する 持ち物の確認をする	①
展開 (10分)	教師が持っている物が何か答える	<u>Oral Introduction</u> 鉛筆を手に持ち、それが何かを答えさせる		

<p>例) Pencil!</p> <p>物の数が変わったときの英文の変化に注意しながら聞く</p> <p>板書を見ながら、物が1つの時と2つ以上の時の違いを確認する</p> <p>空欄に入る英語を答える</p>	<p>例) What? / What's this? Yes, it's a pencil.</p> <p>I have ~. の形で単数形と複数形の両方の言い方を聞かせる</p> <p>例) I have <u>a</u> pencil. I have <u>two</u> pencils. I have <u>three</u> pencils.</p> <p>物を変えて複数回繰り返す</p> <p>「物が1つの時と2つの時でどう違いますか。」</p> <p>板書を用いて、物が1つの時と2つ以上の時の違いを確認させる</p>	<p>What's this?の文法事項については言及しない</p> <p>必要に応じて日本語で発問する</p> <p>例) 本、腕時計、ペットボトルなど</p>	
<p>I have <u>a</u> pen. I have <u>two</u> pens. I have <u>three</u> pens.</p> <p>空欄に入る英語を答える</p>	<p>板書</p> <p>I have ___ pen. I have _____ pen. I have _____ pen.</p> <p>母音からはじまる名詞には a ではなく an をつけることについて説明する</p> <p>板書</p> <p>___ apple _____ apple_</p>		
<p>空欄に入る英語を答える</p> <p><u>a</u> watch <u>two</u> watches</p>	<p>複数形にすると s ではなく es をつける名詞について説明する</p> <p>板書</p> <p>___ watch _____ watch_</p>		
<p>教師に続いて発音練習をする</p> <p>I have ~. の形で自分の持ち物について発言する</p>	<p>板書の英文を発音させる</p> <p>生徒数名を指名し I have ~. の形で自分の持ち物について発言させる</p>	<p>①</p> <p>②</p>	

<p>(5分)</p> <p>例) I have ~ pens. 教科書 p.40 を開く</p> <p>リスニング音声を聞いて内容に合う絵を選ぶ</p> <p>答え合わせをする</p>	<p>例) I have <u>three</u> pens. How about you?</p> <p>教科書 p.40 を開かせる</p> <p><u>Listen</u></p> <p>教科書 p.40 のリスニング音声を聞かせる</p> <p>CD 音声を聞かせて答え合わせをさせる</p>	<p>CD (4-29)</p> <p>①1問ずつ CD 音声を再生する</p> <p>②3問連続で CD 音声を再生する</p> <p>CD (4-30)</p>	<p>③</p>
<p>(10分)</p> <p>どのような基準で分けられているのかを予想する</p> <p>示された単語がどのグループに入るか考える</p> <p>教師に続いて発音する</p>	<p><u>Oral Introduction</u></p> <p>複数形 (~s / es) 発音の違いに気づかせる</p> <p>①黒板を3つに区切る</p> <p>②名詞の単語を複数形 (~s / es) の発音の違いで、3つのグループに分ける (最初は例として、教師がいくつかの単語を分ける)</p> <p>③生徒を指名して単語を3つのグループに分けさせる (複数回繰り返す)</p> <p>「これらの単語はどのようなルールで分けられているでしょうか。」</p> <p>グループ分けした単語を用いて、複数形の発音の違いを説明する</p> <p>3つのグループごとに単語の発音練習をさせる</p>	<p>例)</p> <p>[z] (ズ) pens, bags, apples, balls, bottles, pineapples, tomatoes</p> <p>[s] (ス) caps, books, cups, cakes, grapes</p> <p>[iz] (イズ) watches, boxes, peaches, oranges</p>	<p>④</p> <p>①</p>
<p>(15分)</p> <p>ペアを作って活動する</p> <p>ワークシートに載っている物とその数を使って会話をする</p>	<p><u>Activity</u></p> <p>ワークシートを配布する</p> <p>生徒一名に協力してもらい、例として対話を見せる</p> <p>例) A: I have two books. How about you?</p>	<p>それぞれ物の数が異なったワークシートをペアの二人が持つように配る</p>	

	<p>時間以内 (2分程度) に いくつの物について会 話することができるか 数える</p>	<p>B: I have three books.</p> <p>それぞれのペアに何回できたかたず ねる</p>	<p>① ②</p>
<p>まとめ (2分)</p>	<p>本時のポイントを確認 する</p> <p>あいさつをする</p>	<p>本時のポイントを確認させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞の単数形と複数形 ・名詞の複数形の発音の違い <p>あいさつをする</p>	